

令和2年度授業改善推進プラン【6年生】

教科	現状の課題	具体的な改善のための方策
国語	△文章の内容を正確に読み取ったり、伝えたい事柄を筋道立てて書き表したりすることが苦手な児童が多い。	<ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字の指導において熟語の意味調べや例文作りに取り組みせ、語彙を増やすとともに、文章を書く機会を多く確保する。 ・本を定期的に紹介したり朝読書の時間を積極的に活用したりして、児童の読書活動を充実させ、読解力の向上につなげる。
社会	△社会的事象に対して多面的な見方・考え方をすることが苦手な児童が多い。	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT等を活用し資料の見方を丁寧に指導する。 ・資料に対して着目する点を具体的に示すと同時に、他の資料や既習事項との比較、分類、総合、関連付けをするよう指導する。
算数	<p>△新しい問題に対して、既習事項を活用して思考する力が弱い。</p> <p>△四則演算や計算のきまりなど、学習の積み重ねができていない児童がいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・集団の実態に応じて、問題に対してポイントとなる既習事項を黒板に書き表すなど、前時の授業や既習事項の振り返りを重点的に行う。 ・友達と自分の考えを比較したり、友達の考え方を活用したりする機会を増やし、問題に対して様々な視点が得られるように指導する。 ・補充プリントなどに取り組みせ、つまずいている単元の習熟を図る。
理科	△実験や観察の結果から得られた情報を理論的に考察し、事象について筋道をたてて表現する力が弱い。	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察で得られる情報について、児童がより実感を伴って理解することができるよう、実物やICTを積極的に活用する。 ・児童が事象について筋道を立てて考察できるよう、授業の流れを明確にする。また、実験や観察の計画を丁寧に指導し、その意図や条件制御などに対する理解を深めることができるようにする。
音楽	△楽器などの技能面では、ねばり強く取り組むことが苦手な児童が多い。	<ul style="list-style-type: none"> ・楽譜や演奏を分かりやすく提示し、個人のつまずきに丁寧に対応していく。
図工	<p>△材料や道具の特徴を生かすことに課題がある。</p> <p>△既習事項の技能を生かすことがあまりできていないところに課題がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が思いに合わせて様々な材料や道具を試せる環境を作り、特徴を生かして表せるようにする。 ・前学年までの材料や用具についての経験や技能を、活動前に振り返らせて表現に合わせて総合的に生かして表すように指導していく。
体育	<p>△技能面で苦手意識が強く、意欲的に参加できていない児童がいる。</p> <p>△安全を意識したりルールを守って行動したりすることに対して、意識が低い児童が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTや学習カード、学習資料を活用し、児童が自分に合った課題や練習に取り組めるようにする。 ・活動の内容に合わせて、児童に予想されるケガや必要なルールを具体的に考えさせ、安全やルールに対する意識を高める。
家庭科	<p>△玉止めや玉結びができない児童が多い。</p> <p>△ミシンやアイロンなどの道具の使い方が分からず、適切に扱うことができない児童が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用し、児童が視覚的に使い方を理解できるようにする。 ・活動前に、安全指導を含め、道具の使い方を入念に確認する。活動中は、ペアで確認し合いながら取り組ませる。
外国語	△外国語を活用して意欲的にコミュニケーションを図ろうとする児童が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・単元を通して扱う英単語の反復練習を充実させる。 ・「カバーバルコミュニケーション」を意図的に取り入れ、楽しみながらコミュニケーションをとることができるようにする。